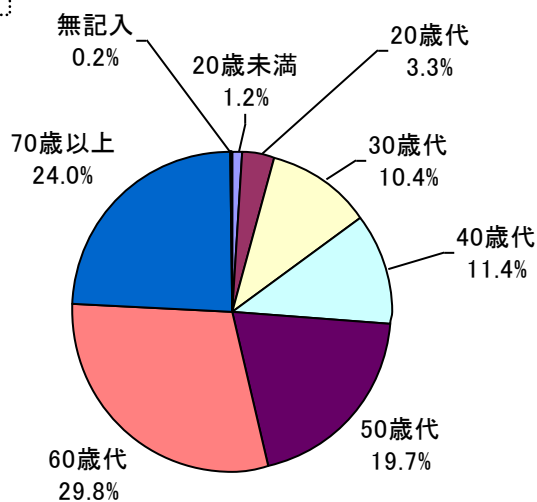


調査概要

- 調査期間 2007年7月～8月
- 配布数 1,000部
- 回収数 885部
- 回収率 88.5%

年代別



項目	人	%
20歳未満	11	1.2
20歳代	29	3.3
30歳代	92	10.4
40歳代	101	11.4
50歳代	174	19.7
60歳代	264	29.8
70歳以上	212	24.0
無記入	2	0.2
合計	885	100.0

性別

項目	人	%
女性	759	85.8
男性	126	14.2
合計	885	100.0

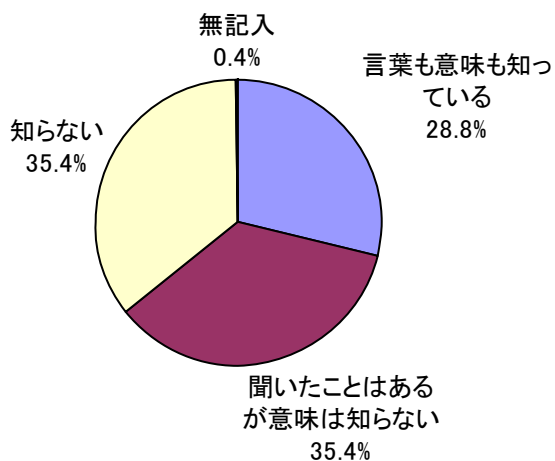
I 生分解性プラスチックについて

①生分解性プラスチックは私たちの身の回りにもずいぶん浸透してきています。

あなたは「生分解性プラスチック」という言葉をご存知ですか？（1つ選ぶ）

項目	人	%
言葉も意味も知っている	255	28.8
聞いたことはあるが意味は知らない	313	35.4
知らない	313	35.4
無記入	4	0.4
合計	885	100.0

Q1



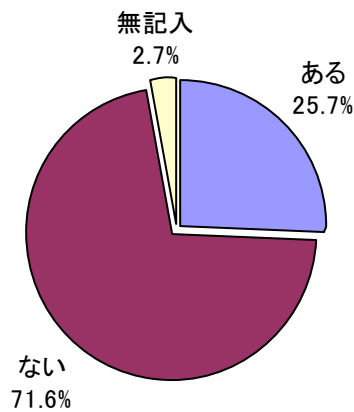
言葉も意味も知っていると回答した人が約3割で、約7割の人が意味を知らないと回答している。

「生分解性プラスチック」は、決して身近な商品ではないことがわかる。

②「生分解性プラスチック」を使った商品を見たことがありますか？（1つ選ぶ）

項目	人	%
ある	227	25.7
ない	634	71.6
無記入	24	2.7
合計	885	100.0

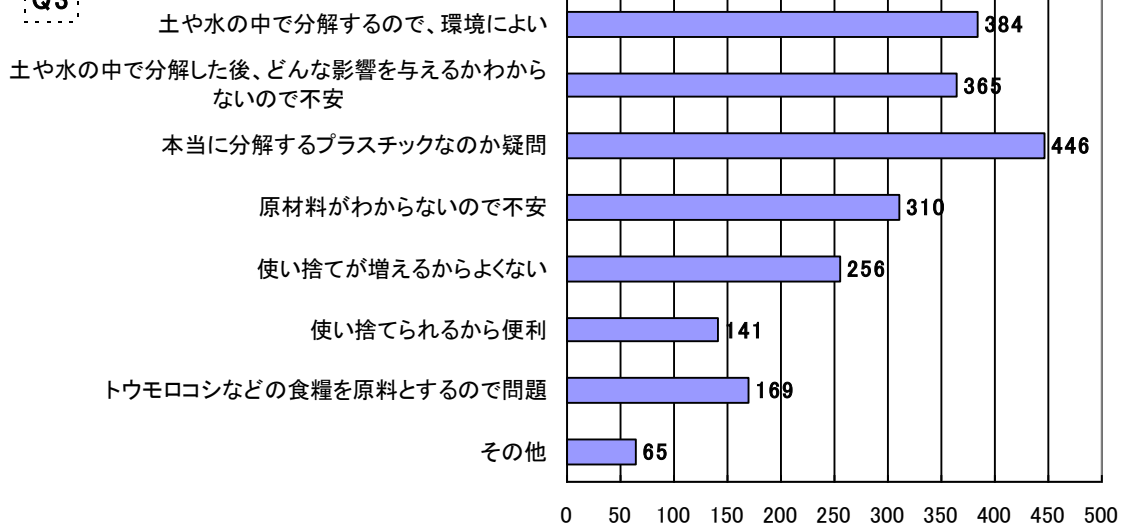
Q2



7割以上の方が「生分解性プラスチック」を使った商品を見たことがないと答えている。「生分解性プラスチック」の言葉も意味も知っていても商品を見たことがない人がいることがわかった。

③「生分解性プラスチック」という言葉にどんなイメージをもっていますか？ あてはまる番号をすべて記入してください。

Q3



項目	人	%
土や水の中で分解するので、環境によい	384	43.4
土や水の中で分解した後、どんな影響を与えるかわからないので不安	365	41.2
本当に分解するプラスチックなのか疑問	446	50.4
原材料がわからないので不安	310	35.0
使い捨てが増えるからよくない	256	28.9
使い捨てられるから便利	141	15.9
トウモロコシなどの食糧を原料とするので問題	169	19.1
その他	65	7.3

【その他】知らなかったのでわからない、ぜんぜんイメージがわからない、使用方法がわからない、食料品を食料以外に使うのは問題、など

約半数の人が「本当に分解するプラスチックなのか疑問」と回答している。土や水の中で分解するので「環境によい」と回答している人、まったく逆に「どんな影響を与えるのかわからないので不安」と回答している人が4割台となっている。「原材料がわからないので不安」が35.0%と続く。「生分解性プラスチック」の意味がわからず、見たこともない人が多い中、全体的に「疑問」「不安」のイメージが強いことがわかる。

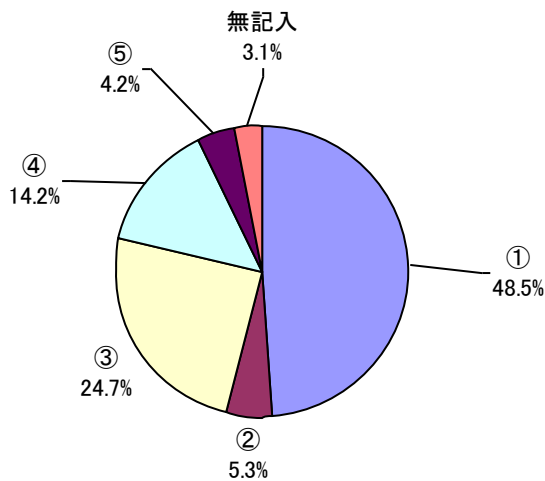
Ⅱ リユース(再使用)について

④PET ボトルは大量に生産され、リサイクルはされているものの、ごみが増える原因の1つになっています。PET ボトルもガラスのようにリユース(再使用)したらよいという考えがあります。あなたはリユースした容器に入った飲み物を買いますか？ (1つ選ぶ)

項目	人	%
①	429	48.5
②	47	5.3
③	219	24.7
④	126	14.2
⑤	37	4.2
無記入	27	3.1
合計	885	100.0

①PET ボトルでもガラスびんのようにリユースできるなら、リユースした容器に入った飲み物を買う、②PET ボトルならリユースした容器に入った飲み物を買うが、ガラスなら買わない、③ガラスならリユースした容器に入った飲み物を買うが、PET ボトルなら買わない、④新しい容器に入った飲み物しか買わない、⑤その他

Q4



【その他】原則として買わない、衛生が安全と確認された場合①、完全な殺菌と洗浄ができて
いるのなら PET ボトルのリユースでも可、500cc 等直接口をつけるものは控えたい、PET ボト
ルはプラスチックゆえに傷がついたならそこから細菌の繁殖の可能性が高いので使い回しは
難しいのでは、など

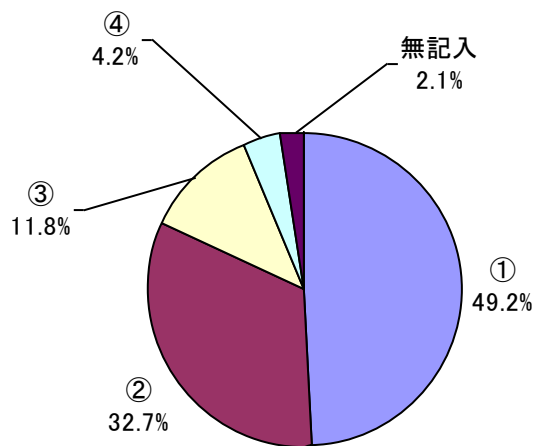
約半数の人が「PET ボトルでもガラスびんのようにリユースできるなら、リユースした容器に入
った飲み物を買う」と回答し第 1 位となったが、反面、約 25%の人が「ガラスならリユースした容
器に入った飲み物を買うが、PET ボトルなら買わない」を挙げ、第 2 位となった。また、約 15%
の人が「新しい容器に入った飲み物しか買わない」と回答している。

Ⅲ 街中で飲み物が補充できるシステムについて

⑤外出時の飲み物として、現在あなたがもっともよく利用している方式は何ですか？（1 つ選
ぶ）

- ①水筒など自分の容器に飲み物を入れて持ち歩いている、②飲み物は持ち歩かず、PET
ボトルや缶飲料などを自販機で買っている、③飲み物は持ち歩かず、コーヒーショップな
どに入る、④その他

Q5



項目	人	%
①	436	49.2
②	289	32.7
③	104	11.8
④	37	4.2
無記入	19	2.1
合計	885	100.0

【その他】リユースは逆にエネルギーがかかり環境によくない、出かける場所による、水筒とPET ボトルの両方、買ったペットボトルを2~3回洗って自宅の飲み物を入れて持ち歩く、など

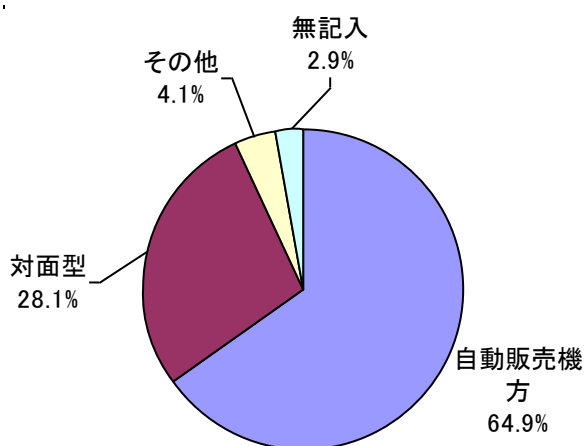
第1位は、「水筒など自分の容器に飲み物を入れて持ち歩いている」(49.2%)、第2位は「飲み物は持ち歩かず、PET ボトルや缶飲料などを自販機で買っている」(32.7%)、第3位は「飲み物は持ち歩かず、コーヒーショップなどに入る」と続く。

飲み物は持ち歩かないと回答した②と③を合わせると、44.5%となる。飲み物を「持ち歩いている人」と「持ち歩かない人」は、だいたい同数であることがわかる。

⑥街中で飲み物を補充するシステムが広がったら、補充方法として、次のどれがいいですか？
(1つ選ぶ)

項目	人	%
給水機のような、自動販売機型	574	64.9
コーヒーショップなどのような、対面型	249	28.1
その他	36	4.1
無記入	26	2.9
合計	885	100.0

Q6



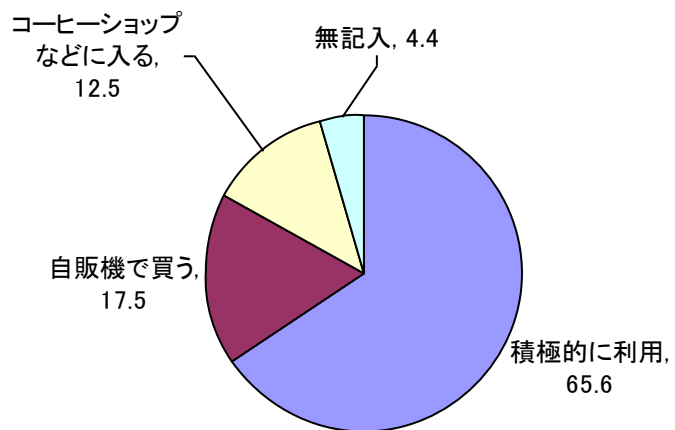
【その他】要所に蛇口の水道
または自動販売機ではなく 1
押 10 円(水)のような機械で充
分と思う、衛生面で心配、衛
生面で管理できれば企業とし
ての経済性の高い方でよい、
など

第 1 位は、だんとつで「自販機型」(64.9%)を挙げている。既にあるような「対面型」は 28.1%だった。その他では、衛生面の管理についての記述が多かった。

⑦⑥であなたが選んだような補充場所ができたとして、あなたはそれを利用しますか？ (1 つ選ぶ)

項目	人	%
積極的に利用する	580	65.6
補充するよりは、PET ボトルや缶飲料などを自販機で買う	155	17.5
補充するよりは、コーヒーショップなどに入る	111	12.5
無記入	39	4.4
合計	885	100.0

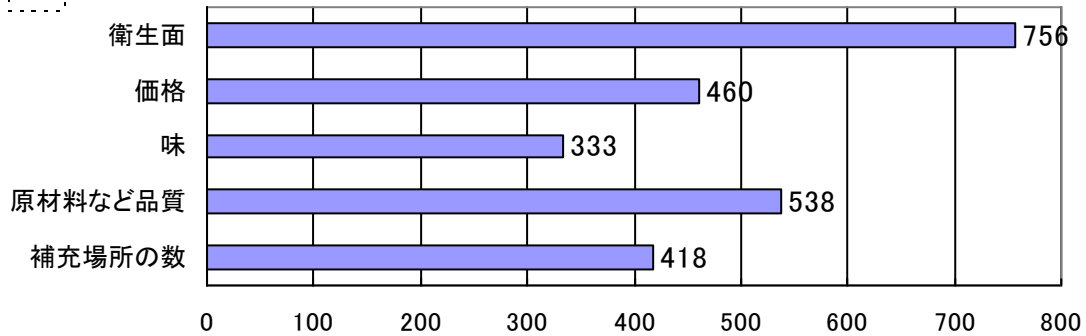
Q7



65.6%の人が「積極的に利用する」と回答している。

⑧⑥であなたが選んだような補充場所ができたとして、気になる点はなんですか？ あてはまる番号をすべて記入してください。

項目	人	%
衛生面	756	85.4
価格	460	52.0
味	333	37.6
原材料など品質	538	60.8
補充場所の数	418	47.2

Q8

85.4%の人が「衛生面」を選んでおり、街中で飲み物を補充するシステムについては、一貫して「衛生面」が一番の関心事だということがわかる。第2位が「原材料など品質」(60.8%)、第3位が「価格」(52.0%)と続く。

「味」が最下位で37.6%の人が挙げている。

IV その他

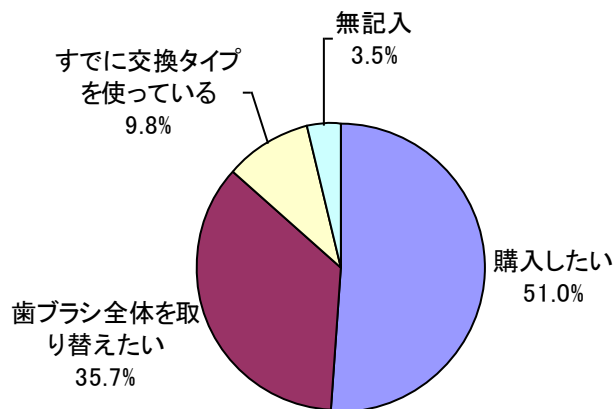
⑨ふだんお使いの歯ブラシについて伺います。

ブラシ部分に比べて、もち手の柄の部分は傷みにくいため、ブラシ部分のみ取り替えられる歯ブラシもあります。

あなたは、今使っている歯ブラシがブラシ部分のみ取り替えられるようになったら、購入しますか？ 使い勝手は変わらないものとします。(1つ選ぶ)

項目	人	%
ぜひ購入したい	451	51.0
ブラシが痛んだら、やはり毎回歯ブラシ全体を取り替えたい	316	35.7
すでにブラシだけ交換するタイプの歯ブラシを使っている	87	9.8
無記入	31	3.5
合計	885	100.0

Q9

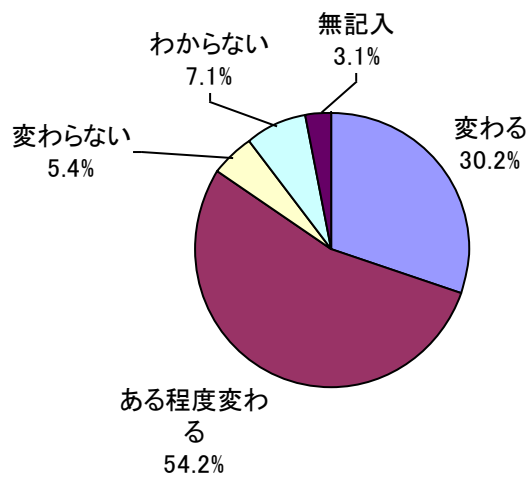


約半数の人が「ぜひ購入したい」と回答しており、約 1 割の人が「すでに交換タイプ」の歯ブラシを使っている。最近ドラッグストアでは多種多様な歯ブラシが並んでいる。交換タイプの歯ブラシは、まだ店舗で見かけることは少ないが、今後のヒット商品になるだろう。

⑩あなたが環境に配慮した商品を買うことによって、環境や企業の姿勢が変わると思いますか？（1つ選ぶ）

項目	人	%
変わる	267	30.2
ある程度変わる	480	54.2
変わらない	48	5.4
わからない	63	7.1
無記入	27	3.1
合計	885	100.0

Q10



「変わる」30.2%と「ある程度変わる」54.2%を合わせると、私たちの買い物の仕方によって環境や企業が変わっていると思っている人は 84.4%となる。